

## 1月定例記者会見の概要

1 日時 令和2年1月7日(火) 9時30分～10時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)

NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)

河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)

共同通信社 福島支社(南相馬記者クラブ会員)

毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)

読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)

福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)

福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)

みなみそうまチャンネル

計 9 社

<市側>

市長 林副市長 松浦副市長 教育長

小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長

市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長

経済部長 経済部中目理事 経済部笹野理事

建設部長 総合病院事務部長 教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行)秘書課長

(会議記録)秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

皆様、明けましておめでとうございます。

記者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、年頭あいさつを兼ねて、市政報告をさせていただきます。

昨年を振り返ってみると、復興の兆しが見られる1年であったと言えます。

1月には小高復興拠点施設「小高交流センター」がオープンし、4月には「原町川俣線の道路整備事業」の新規事業採択をいただきました。

また、7月には震災後9年ぶりとなる北泉海水浴場の再開があったほか、8月には中学生海外研修事業の取り組みとしては、公募で選ばれた市内の中学生を対象と

した海外研修を行うことができました。

9月には、かねてより要望していた「(仮称)小高スマートインターチェンジ」の新規事業採択をいただいたほか、「スマート農業」の実証や、南相馬市産米「天のつづ」の商品化など営農再開に向けた動きもありました。

また、市立総合病院の看護職員を市内医療機関へ派遣するといった新たな取り組みなども実施できました。

12月には、地元企業と福島ロボットテストフィールドに入居している企業や大学、市内に新規進出した企業を繋ぐ取り組みも始めました。

一方で、昨年中は、市工業団地への企業誘致も進み、新たに2社を誘致することが出来ました。

一方で、昨年は水に振り回された一年となりました。

春先には、横川ダムの湯水が発生し、利用者の皆様に節水のご協力をお願いさせていただきましたが、一転、10月には台風19号などの豪雨災害が発生しました。

今回の豪雨災害で、河川やダムなどの生活インフラに関する課題も明らかになりましたので、河川の改良復旧やダム管理の在り方などについて県や国などへ要望を行うなど、必要となる対策を講じると共に、市でも、り災証明書の発行、更には災害見舞金の対応、災害復旧工事など、被災された市民の皆様が一日も早く生活再建できるように全力で取り組んでまいりたいと考えております。

さて、本年、2020年に目を向けますと、春には常磐線の全線再開と特急列車の運行再開が予定されています。3月上旬には双葉町、大熊町、富岡町の駅舎周辺を含む一部地域の避難指示解除が行われる見通しですので、3月中の運行再開を期待しています。

また、3月26日には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「聖火リレー」と「セレブレーション」が開催される予定です。

更に、春には、福島ロボットテストフィールドの全面開所が予定されているほか、「おだか認定こども園」と新設保育園が合わせて3園、開園する見込みです。

8月には、「ワールドロボットサミット」の開催が予定されております。同じく夏頃には、ロボット関連産業など新産業育成を目指して整備を進めている復興賃貸事業所も完成予定です。

世界的なイベントが2つ予定されていますので、国や県などと連携を図りながら、多くのお客様を盛大にお迎えし、本市の復興状況を力強く発信していきたいと思っております。

本年も政策目標である「100年のまちづくり」の実現に向けて職員一丸となって邁進して参りますので、記者の皆様にも市の情報発信にご協力を賜れば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

次に、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

まず、市議会定例会についてです。

12月18日に閉会した第5回市議会定例会において、条例制定など、議案42件および平成30年度決算認定議案15件について議決を賜りました。

次に、台風19号等に係る要望書の提出についてです。

12月6日に、内堀知事を訪問し、台風19号で被害にあった箇所への早期復旧や改修、生活再建に向けた更なる支援などについて要望書を手渡して参りました。

知事からは、「今回の災害を踏まえ、将来に向けて1つずつ話し合いをしていきましょう」とお話をいただきましたので、台風19号の災害によって明らかとなった課題の解消に向けて、県と具体的な話し合いを重ねて参りたいと考えております。

次に、中央図書館の記念式典についてです。

市では、12月14日に、中央図書館開館10周年記念式典を開催しました。

式典では、中央図書館が10周年を迎えるにあたり、その活動に多大なるご貢献をいただいた3団体に対して、感謝状を贈呈させていただきました。

今後も、市民の皆様から愛される生涯学習の拠点として、図書館の機能充実に努めて参ります。

次に、企業との連携協定についてです。

市では、12月16日に、株式会社テラ・ラボと連携協定を締結しました。

本協定は、両者がドローンなど近未来技術の社会実装や、学校など教育機関の人材育成、市内企業との連携協力に関する意見交換や施策を行うものとなっています。地域産業の活性化と地域住民の生活の質の向上に繋がるものと期待しています。

次に、聖火リレーのランナーについてです。

既に報道されておりますが、12月25日に、県公募枠の聖火ランナーが発表され、南相馬市からは、石神第一小学校6年生の早坂優一君が選ばれました。

聖火リレーのトーチは同校の「百年桜」がモチーフとなっており、早坂くんはトーチをデザインした吉岡さんのワークショップにも参加していたと聞いています。

市の代表として、力強く走っていただきたいと思います。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

まず、市議会臨時会の開催についてです。

市では、早急に議会で審議いただきたい案件が出てきたことから、1月15日に第1回市議会臨時会を開催する予定で調整を進めており、本日午後の全員協議会へ報告する予定としています。記者の皆様へは全員協議会が終わり次第、議案の要旨などを配布させていただきます。

次に、ジブチ共和国への義援金の募金についてです。

市では、1月15日から2月14日までの期間、ジブチ共和国の洪水被害に伴う義援金の募金箱を本庁市民課と各区役所市民総合サービス課に設置いたします。

ジブチ共和国では、昨年11月に豪雨による洪水災害が発生し、市として、昨年12月24日に緊急で義援金の寄附を行いました。

しかし、現在もジブチ共和国では洪水被害からの復興が途上であることから募金箱の設置を決めたものであります。

東日本大震災時に本市へ義援金や暖かな励ましの言葉を寄せて下さり、復興ありがとうホストタウンとして親交を深めているジブチ共和国の皆様が一日も早く平常な生活を取り戻せるように、市をあげて応援してまいりたいと思いますので、市民の皆様にもご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

次に、市民説明会の開催についてです。

1月11日に旧避難指示区域内の市民を対象として、同区域内の現状や今後の見通しを周知する市民説明会を開催します。

旧避難指示区域の居住人口は、12月末時点で4,209人と少しずつ増加してきていますが、更なる帰還促進に向けて、今後も不安の解消などに取り組んで参ります。

なお、当日は同じ会場で、経済産業省資源エネルギー庁、原子力損害賠償・廃炉等支援機構の主催で、「福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の取組状況に関する説明会」も同時に開催される予定です。

次に、市成人式についてです。

市では、1月12日に成人式を開催します。

今年は2020年で、成人式は二十歳のお祝いですから、202020と20がそろそろ記念すべき成人式となります。

出席者は、昨年末時点で361名となっており、式典では、東日本大震災で全国に散らばった同級生を思い、小高中学校で作られた曲である「群青」の斉唱も予定されています。

新たな一歩を踏み出す新成人の皆様が安心して暮らすことが出来るように、仕事や医療、子育てなどの環境整備を進め、新成人の皆様を選ばれるまちとなるように、努力して参ります。

次に、派遣交流事業の報告会についてです。

1月26日に、南相馬市国際交流協会と共催でペンドルトン派遣報告会及び外国人交流パーティーを開催します。

報告会では、昨年8月に姉妹都市相互派遣交流事業として、ペンドルトン市を訪問した高校生達がホームステイや現地の見学、体験活動を通じて交流した成果を発表する予定です。

なお、報告会後には、市内に居住している外国人の皆様へ、南相馬の正月を体験してもらい、日本文化への理解を深めていただくことを目的としたパーティーも予定しています。

報告会に参加した高校生達には、派遣を通じて身に着けた経験を活かして、地域と外国人の国際交流の懸け橋となっていただきたいと思います。

私からの報告は以上です。この後、皆さんからのご質問をお受けいたします。

**【各部からの報告】**

特になし

**【各部からの報告（資料提供のみ）】**

復興企画部

- ・旧避難指示区域内市民説明会の開催について
- ・東京電力H D(株)への要求活動の実施について

経済部

- ・Minamisoma New Year Party2020・ペンドルトン派遣報告会

教育委員会

- ・令和2年南相馬市成人式の開催について

**【質疑応答】**

質問1：

仕事始め式と会見冒頭で今年度優先的に取り組むものとして、台風と大雨の被害を受けた市民の生活再建と今後の災害を見据えた治水対策などを挙げられましたが、具体的にはどのようなことに取り組むか教えてください。

回答1：市長

昨年でいうと、渇水と大雨がありました。

渇水については、記録的な渇水であったことから、かつてないほどの節水をお願いしました。こちらについては水の確保の問題ですので、代替水の確保などを県と協議しているところです。

大雨の対応については、一定の放流量に耐えられる河川の整備と治水対策が必要ですので、こちらを県に要望しております。今後は、具体的な災害査定を受けながら、原形復旧のみならず、嵩上げや河川の土砂払い等をお願いすると共に、ダムの維持管理方法についても県と協議して参りたいと思います。

次に、市民の生活再建については、義援金の支給や、稲わらやビニールハウスの撤去への対応、また、直接自宅の改修等を行った方や事業再開を計画されている方への対応など、被災された皆様が生活再建できるように支援をして参りたいと考えています。

質問2：

今年の3月で、震災と原発事故から9年を迎えます。南相馬市の震災と原発事故からの復興を見据え、今後どのような政策に取り組むか教えてください。

回答2：市長

震災からの復興に係る施策については、昨年3月に策定した総合計画の後期基本計画を実行していくことが、復興に繋がると考えています。

幸い復興庁については10年目以降も継続するということが大筋は決まりましたが、具体的な施策については、そうした動向を見極める必要があります。また、避難先から帰還した人達の生活に対する不安も人や地域によって異なりますので、そうしたことを的確に捉えながら、総合計画に施策が載っていない案件にも適宜柔軟に対応して取り組んでいく必要があると考えており、職員にはアンテナを高くして業務にあたって欲しいとお願いしたところです。

質問3：

台風災害における職員死亡の件で、第三者委員会の設置に向けた進捗状況と今後の開催に向けたスケジュールを教えてください。

回答3：市長

1月早々にも具体的に委員会を立ち上げるように動いておりますが、まだ公表できる段階ではない状況です。

回答3補足：総務部長

現在、委員会の人選を進めているところです。1月中には第1回目の審査会を開催できるように準備を進めて参ります。

質問4：

聖火リレーの詳細ルートやランナーなどの発表がありました。市長として南相馬の復興をどのように伝えたいか教えてください。

回答4：市長

震災から復興に向かっている間、全国、全世界から様々な形でご支援いただきました。

震災直後は、市内はほぼ無人になったので、聖火リレーのコース沿いに人が生活している状況も、一つの状況報告であると思っています。

加えまして、セレブレーションにおいて、市の復興状況を的確に発信するために検討を進めているところです。

質問5：

一昨年の12月頃に環境省から羽倉行政区における再生土壌使用について話がありましたが、その後の動きがあれば教えてください。

回答5：市長

再生土壌の実証事業については、その必要性を理解し、反対はしていませんが、再生利用については、法整備や住民の理解が十分進んでいないことから、以前から問題外であると申し上げています。環境省へも「住民の理解を得るため、十分な説明を実施して欲しい」とお伝えしていますが、その後の動きはございません。

質問6：

聖火リレーの関係について、祭場で行う市のイベントと組織委員会のイベントについて進捗状況を教えてください。また、イベント内容の発表時期も教えてください。

さい。

回答6：市民生活部長

セレブレーションにつきましては、組織委員会と県が会場の利用について検討しているところです。

市としては、相馬野馬追やロボット、ドローンなどを活用して市の状況をお伝えできるように調整をしているところです。

なお、イベント内容の発表時期については、後日、組織委員会や県から発表される予定です。

質問7：

2018年の市長選から2年が過ぎ、就任後の折り返し地点を迎えますが、これからの市政への思いをお聞かせください。

回答7：市長

一年目については、市民一体感促進事業などのこの地域の特殊な事情などの喫緊の課題に手を打ったつもりです。

二年目については、総合計画の後期基本計画策定ということで、私が公約で掲げた「100年のまちづくり」、「家族と友人と共に安心して暮らせるまちづくり」について、具体的な対応を計画にまとめ、計画に沿った予算化を行うことが出来ました。

具体的には、教育関係における独自教員の採用や、海外研修が実施できたということは大変ありがたく、一歩ではありますが、徐々に進んでいると感じています。

3年目となる今年は、創業支援などパッケージ施策に取り組んで参りたいと考えており、仕事づくりについて充実していきたいと考えております。

震災からの復興が一步ずつではありますが、進んできていると思う反面、住民生活の基本はやはり安全・安心がなくては成り立ちませんので、今回の災害対応や治水対策など次につながる対応を行っていきたいと考えています。

折り返し、まだまだやるべきことがあります。先ほど申しました仕事づくりや医療介護環境の整備などについても、3、4年目で一つでも改善できるように努力して参りたいと考えております。

質問8：

臨時議会の提案内容について話せる範囲で概略などについて教えてください。

回答8：総務部長

提案内容については、全員協議会で議会へ説明してからの提供となります。

概要ですが、農業関係の財産取得関係が2件、農業用施設改修工事の請負契約の変更が1件の議案3件となっております。